

実践！敬語塾（その3）尊敬・謙譲付加形式

それを表す尊敬語がない場合、付加語をつけることになる。その場合、あまりにもこじたとつけると「慇懃無礼」ということになるので、注意しよう。

問、次の表現を尊敬表現にしなさい。

客が電話を受けた。

本を読んだ？

金を持ってきたのか？

さつきのことをこいつに喋ってくれねえか？

問、次の表現を謙譲表現（ ）は、尊敬表現に代える部分も
ある）にしなさい。

あとでおまえに連絡する。

書類の書き方、教えようか？

俺が客に菓子を持って行って、詫びを入れとく。

あとでメールを送つておくので、待つていて。

謙譲表現の付加語「～させていただく」も多用しすぎると卑屈な表現になり、これも「慇懃無礼」につながる。「させていただく」を謙譲の付加語に代えて表現しなさい。

このパーティーを終わらさせていただきます。

こちらで商品の説明させていただき、どれを買うか決まつたら商品をお届けさせていただきます。